



議会だより

No.54
H29.11.1発行

あさぎ町議会

検索

通年議案
第3・4回会議

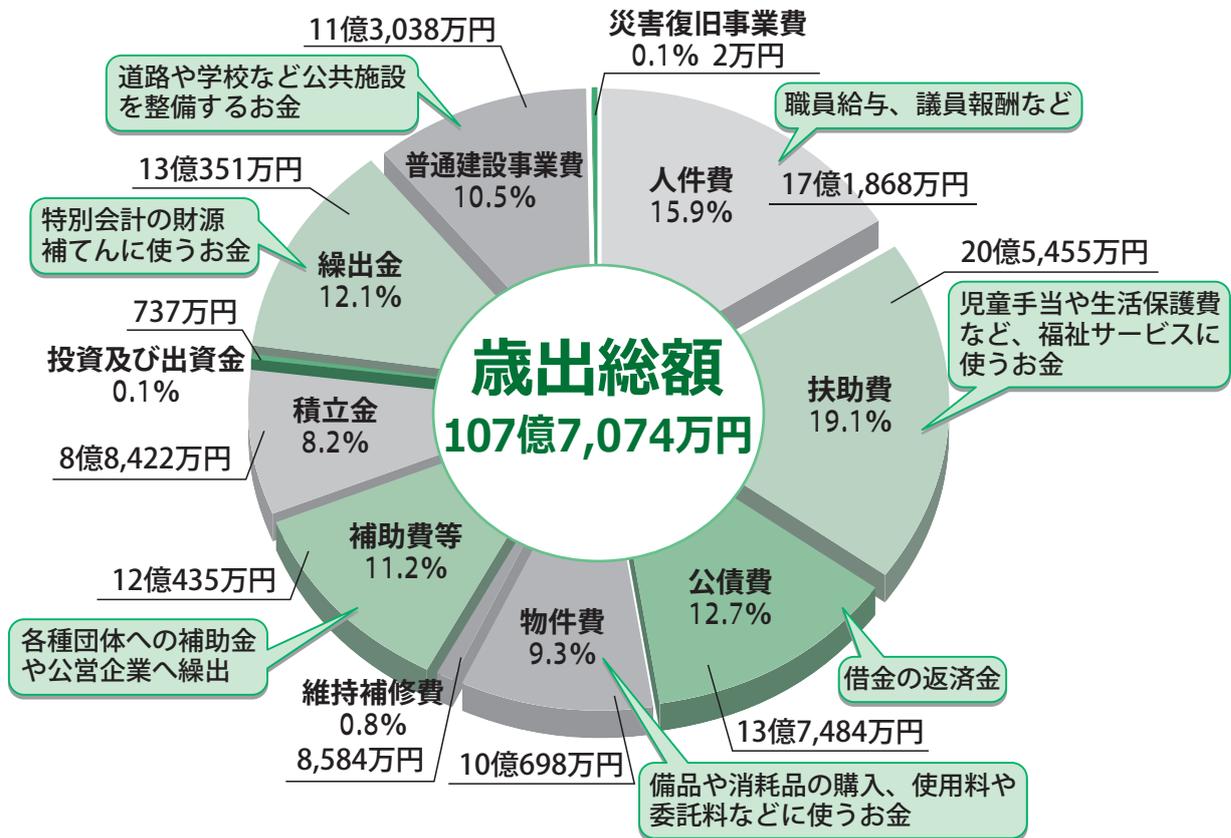
平成28年度一般会計決算状況	2～5P
平成29年度一般会計補正予算	6～7P
上財産区を町有林へ	8～9P
一般質問に9人が登壇	10～14P

秋空の運動会 がんばるぞ!



平成29年第4回会議は、9月5日から16日まで開会し、議案18件、認定10件、報告4件、諮問2件、発議2件を審議した。一般質問は9人の議員が登壇し、町政全般について質問

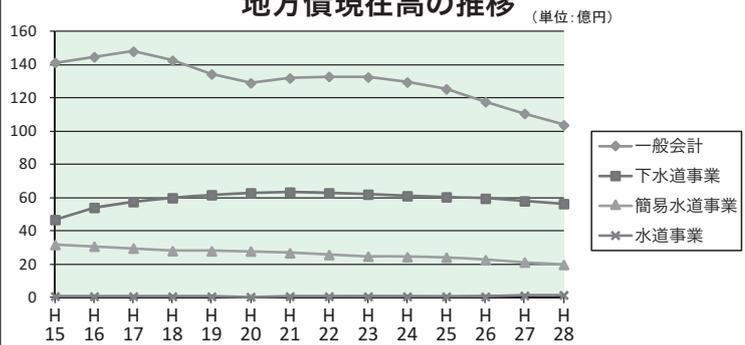
一般会計決算状況



◆地方債（借金）

道路改良事業や学校施設改修の財源として総額6億30万円を借り入れましたが、返済を12億8,466万円行ったため、地方債残高は6億8,436万円減少し、平成28年度末残高は103億6,876万円となりました。特別会計も含めた全体の残高は前年度よりも9億9,318万円減少し、181億4,542万円となりました。

地方債現在高の推移



監査委員の意見書

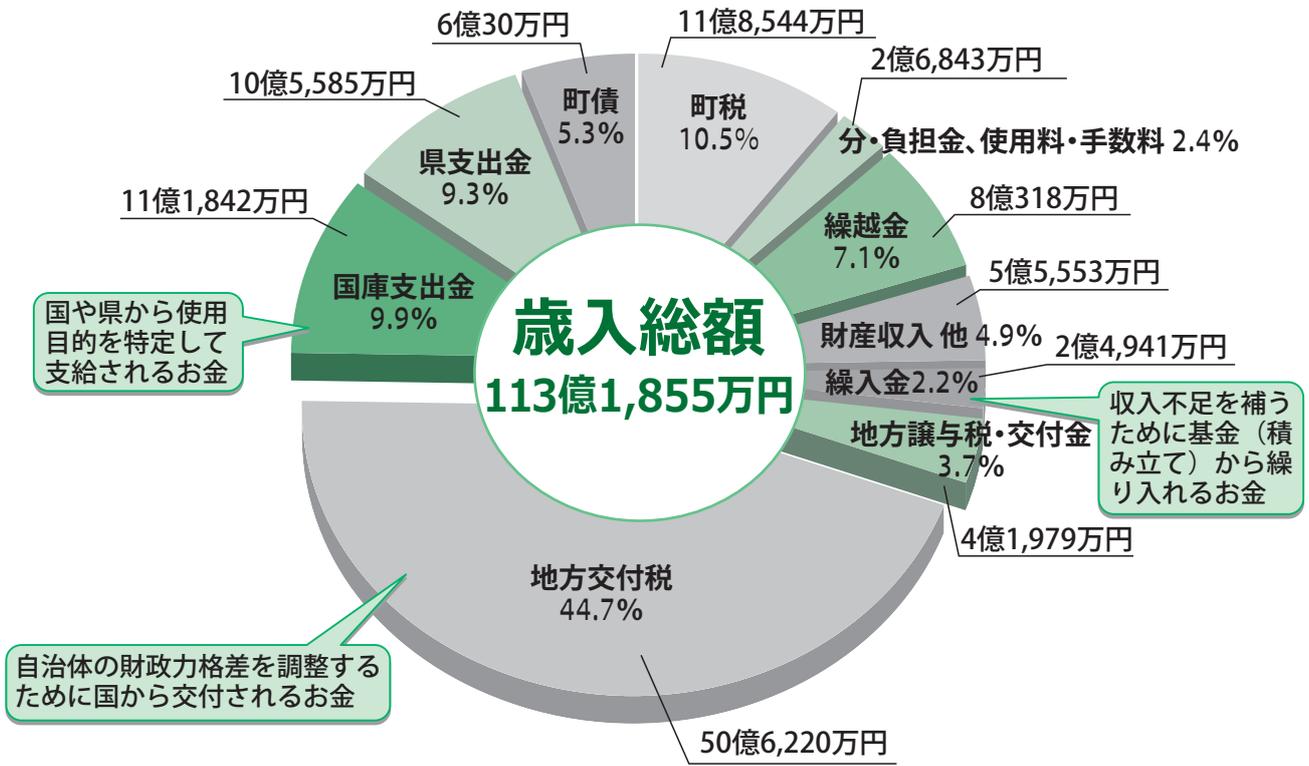
【一般会計】

一般会計歳入の10%以上を占める町税の徴収率（現年十過年度分）は93・4%であり、過去5過年の推移を見ても毎会計年度微増しており、良好な状況にある。

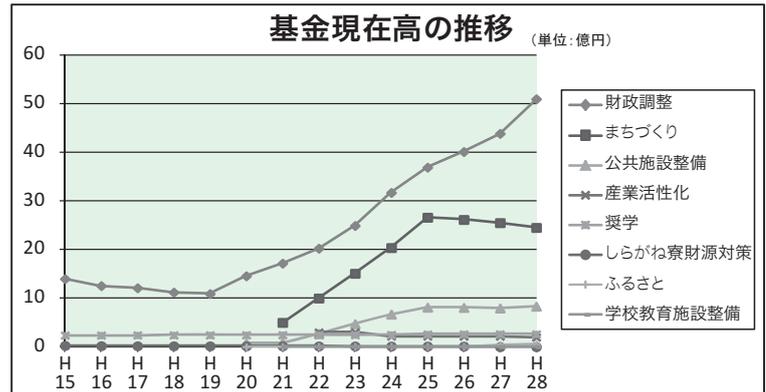
会計年度ごとの収入未済額と不納欠損額については、関係する課で構成する「債権回収対策連絡会議」で連携し、財産調査による差押えや分納措置等徴収向上対策が講じられており、今後とも粘り強い徴収に努めてほしい。



平成29年第4回会議開催 平成28年度 一



◆基金（貯金）
【一般会計】
将来の財政運営に備え、財政調整基金に7億1,064万円積み立てました。合併特例債を活用し積み立ててきたまちづくり基金は、26年度から取り崩しを行いまちづくりのための事業に充当しています。基金の総額は前年度より6億4,391万円増加し、89億816万円となりました。



● 財政構造

本町の自主財源比率は27・1%で年々上昇しているが、類似団体と比較してもまだ低い水準にある。また、地方交付税が合併算定替により少なくなるような状況で住民生活を守るための優先順位等を考慮した規律ある財政運営に努めてほしい。

● 財政分析

財政の弾力性を示す経常収支比率については、本年度87・3%であるが、ここ数年上昇傾向を示している。類似団体（平成27年度85・4%）と比較すると高い水準ではあるが、注視していく必要があると考える。

平成28年度実質収支比率7.4%について、前年度に比べ、2.6%減少しているが、一般的に3%〜5%程度が望ましいとされていることから、財政運営も含めて妥当な水準の行政サービスが確保されたのかどうか検討する必要があると考える。

平成28年度収納状況

税金や使用料等の滞納額の主なもの

(収入未済額)

町 税	8,144 万円	簡易水道料	541 万円
国民健康保険税	7,264 万円	下水道使用料	784 万円
保育料	846 万円	下水道分担金	256 万円
公営住宅使用料	1,518 万円	水道事業使用料	189 万円
介護保険料	649 万円		

※監査意見資料より、端数切捨ててあります。

平成28年度 決算審議内容の抜粋

総務文教常任委員会所管課分

(総務課・会計課・企画財政課・教育委員会・税務課)

問 地方バス運行助成の状況と、今後の運行方針は。

答 くまがわ鉄道と路線バスの運用につきまして、は、上球磨五町村で検討している。今後は郡市一体での取組等により経費の削減を図る。



問 平成二十八年度設置した防犯カメラの設置効果は。

答 運用は、今年度になり行方不明の捜査に二件、警察依頼による外部提供など情報の提供に対応している。

今後も、高齢者の徘徊対応を主眼に、犯罪抑止、安全安心のまちづくりに努める。



問 高齢者の運転免許証の返納にかかる対策を講ずるべきでは。

答 現在、交通安全対策、高齢者対策、地域交通等を持つ課により、連携体制を図り対策を講じていきたい。

問 旧中学校校体育館の校歌、跡地の校碑・校歌碑などの一元管理は。

答 校旗については、生涯学習センターに保管している。校碑等については、今後検討していきたい。

問 給食費の徴収状況と徴収体制は。

答 学校給食費は学校長の管理下にある会計である。徴収の在り方については先生方の負担を軽減すべく、口座振替等の対応をしている。

問 通学路の安全点検と各委員会への報告は。

答 点検調査の結果については、交通安全推進会議を開催し、関係機関と情報を共有している。議会についても報告していく。



建設経済常任委員会所管課分

(農業振興課・商工観光課・建設林業課・上下水道課・農業委員会)

問 農業委員会の改正も来年4月に行われるが、改選後に報酬引き上げの予定なのか。

答 他の町村の状況を見ただうえで協議を進めていきたい。

問 狩猟免許取得への支援策は。

答 講習会テキスト代の $\frac{1}{2}$ の支援は行っているところだが、有害鳥獣被害防止対策協議会へ免許取得に係る経費の支援についても協議させていただきたい。

問 おまけ付商品券の換金率と効果は。

答 前期は額面が4730万円、後期は額面9900万円、100%の換金率。効果としては1億4630万円は間違いなく、あさぎり町内で消費されたということである。

問 祭も一本化して大きな祭りにはできないか。

答 JA青壮年部、商工青年部、青年団、他の各種団体の幹部の人たちと打ち合わせをやっている。少しずつ時間をかけて参加を求めていく。

問 公営住宅使用料が前年に比べて収入未済額が増えている理由は。

答 経済的理由なのか判明できないが、再々の催告、電話、訪問を行い、納付のお願いをしている。

問 下水道料金賦課漏れの調査・結果とその徴収状況は。

答 27年度まで調査が終わっている分、全体の賦課漏れ額943万4090円で今年未徴収額が751万2231円、徴収率79.6%、28年度分44万8342円、徴収額12万5846円、徴収率28.1%であり、随時調査・報告する。

問 現在のあさぎり町内に居住の外国人の人数と状況を把握は。

答 H29年3月31日現在、男13名、女129名、合計142名。国籍別ではベトナム83名、中国21名、韓国17名、フィリピン14名。日本人と同じ様に転出入の手続きもきちんと行っている。

問 現在のあさぎり町内に居住の外国人の人数と状況を把握は。

答 H29年3月31日現在、男13名、女129名、合計142名。国籍別ではベトナム83名、中国21名、韓国17名、フィリピン14名。日本人と同じ様に転出入の手続きもきちんと行っている。

問 総合窓口の取り組みの状況は。

答 28年度来庁者1日平均、113名、丁寧な対応に努めている。苦情等は共有し、検証している。

問 町内の福祉作業所の数が増えているが現状は。

答 町内は6事業所ある。今後はあさぎり町第5期障害福祉計画の中で取り組んでいく。

問 温泉施設指定管理委託料の返還金1161万円は、適正処理か。

答 25・26・27年度の3カ年間の指定管理とし、27年度を28年度に計上した。職務改善し精査して返還金を求めている。

問 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。

答 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。

問 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。

答 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。



厚生常任委員会所管課分

(町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課)

問 生ゴミ回収での費用対効果は。

答 集計上46万3605円の効果が見られた。何よりごみ減量につながっているところが一番の効果と考える。

問 町内の福祉作業所の数が増えているが現状は。

答 町内は6事業所ある。今後はあさぎり町第5期障害福祉計画の中で取り組んでいく。

問 温泉施設指定管理委託料の返還金1161万円は、適正処理か。

答 25・26・27年度の3カ年間の指定管理とし、27年度を28年度に計上した。職務改善し精査して返還金を求めている。

問 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。

答 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。

問 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。

答 出生祝い金の条例に該当出来ない人の対応は。支給基準を今後検討する。

第3回
議会

平成29年度 一般会計補正予算(第2号)

112万円を追加し

総額

99億6,062万円

主要内容

- ◆債務負担行為(平成30年度から平成34年度まで)
学校ICT機器リース料…………… 限度額4,331万円

第4回
議会

平成29年度 一般会計補正予算(第3号)

※1

5億1,812万円を追加し

総額

104億7,874万円

主要内容

歳出

- ◆財政調整基金へ積み立て…9,616万4,000円
- ◆ヘルシーランド改修工事請負費…3億8,000万円

第4回
議会

平成29年度 一般会計補正予算(第4号)

※2

3億4,191万円を追加し

総額

108億2,065万円

主要内容

歳入

- ◆上財産区繰入金 ……………2億3,382万1,000円
- ◆地域活性化交付金 ……………9,020万円
- ◆林業振興基金積立金 ……………2億円

◆第4回会議 表決一覧(抜粋)

議案名	議員名	市岡	難波	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	豊永	永井	皆越	小見田	奥田	久保田	溝口	徳永
平成28年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度あさぎり町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町上財産区の財産に関する処分について		○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○
あさぎり町上財産区設置条例等を廃止する条例の制定について		○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○
あさぎり町林業振興基金条例の制定について		○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度あさぎり町上財産区特別会計補正予算(第2号)について		○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
※1 平成29年度あさぎり町一般会計補正予算(第3号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
※2 平成29年度あさぎり町一般会計補正予算(第4号)について		○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○
熊本地震被害者の住宅再建に関する意見書について		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

条例の制定 及び 改正

抜粋

■第3回会議 7月11日

議案第8号

あさぎり町薬草加工所の設置及び管理等に関する条例の制定について

あさぎり町に薬草加工所を新たに設置するため条例の制定をするもの。

議案第9号

あさぎり町議会の議決に付すべき公の施設の利用に関する条例の制定について

公の施設（薬草加工所）を長期的（5年以上の貸付）かつ、独占的に利用できる為の条例を制定するもの。

■第4回会議 9月15日

議案第27号

あさぎり町上財産区設置条例等を廃止する条例の廃止について…財産区から町有林へ

あさぎり町上財産区を廃止し、平成29年10月1日からすべてあさぎり町に山林、基金、現金を移管し、一般会計予算に繰り入れる。

議案第28号

あさぎり町林業振興基金条例の制定について…新規

地域林業の振興及び森林の有する多面的機能の維持増進を図る事業の経費に充てるため2億円の基金を創設設置するため。

○第3回会議・第4回会議あさぎり町一般会計補正予算（第2号・第3号・第4号）

○特別会計補正予算

○平成28年度決算認定 …………… **すべて 可決**

意見書

発議第2号 熊本地震被害者の住宅再建にかかる意見書について

熊本地震により被災したすべての住民が住宅を再建し、元通りの生活を取り戻せるよう、一部損壊の住宅への支援、半壊以上の住宅が再建可能となるよう被災者及び被災自治体への支援の増額を国へ意見書を提出することを可決決定した。

発議第3号 全国森林環境税の創設に関する意見書について

森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため「全国森林環境税」の早期導入を強く求める意見書を国へ提出することを可決決定した。

人権擁護委員に2名を再任

第4回会議において、人権擁護委員に齋藤幸寛氏、右田えり子氏の再任について適任としました。今後の御活躍を期待いたします。



齋藤 幸寛氏



右田 えり子氏

上財産区(区有林)を町有林へ

9対6の賛成多数で

可決



討論あり!

賛成

1 町で町有林として管理していた
ただく事で水源地の確保。その
ことが次世代に継げる山
「愛林・愛郷」につながるの
ではないか。

2 説明会も開かれ、議会でも議
論を重ねてきた。これ以上時
間をかけてはならない。町民
に溝をつくってはならない。
この一心で賛成する。

3 住民説明会を2回開いたが、
出席率は20数名ずつ。これ
は上地区住民の皆様が(執行
部案に)それでいい、もうそ
ういう時代だというふうな意
志の表れと受け止めた。

反対

1 上地区民が納得されていない
状況では拙速過ぎる。
基金を全行政区にバラまく交
付金事業の効果にも疑問があ
る。

2 説明会の後に基金の使い方を
変更しているので、その案を
もって、いま一度説明会が必
要ではないか。

3 合意形式がまだまだ成されて
いない状況での決定では拙速
すぎる。
納得いただける努力をもう少し
してからでも遅くないと思
う。

※内容は6ページ表決一覧参照

上財産区財政調整基金(基金)の 主たる使途(3億6,520万円)

上財産区の基金はどつなつた。

◎分収林買い上げに …… 1億7,500万円

※分収林買い上げ未定・継続分は、一般財源で買い上げを行っていく。

◎あさぎり町林業振興基金 …… 1億円

(この基金は、地域林業の振興及び森林の有する多面的機能の維持、増進を図るため設置。)

◎地域活性化交付金 …… 9,020万円

(集落機能の強化または、地域の活性化を推進する目的趣旨の交付金。)

職員を各区に2～3名配置し支援する。各区においても協議を重ね、すべての地区にも効果の出るように進める。

交付金のイメージ (52行政区)

各行政区均等配分	100万円	⇒	5,200万円
戸数割として区平均	50万円	⇒	2,820万円
上財産区特別加算			
上地区1区当たり	50万円	⇒	1,000万円

※詳しくは、広報あさぎり2017・11月号の15ページにも掲載されています。

9人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

問 まちづくりにおける合意形成手法は



小見田 和行 議員

小見田 温泉施設、上財産区の今後の方針等の住民説明会も行われているが、反対される住民の皆様に納得させるにはいまだ至っていない状況と思う。住民に深くかわる案件については、対立の構図を後に残さないためにも「議論の場の設定」「議論の場の公開」「十分な情報提供」が公正に守られるシステムの構築が必要と思う。強引に進めば地域において深刻な亀裂を生み、町発展に少なからず悪影響を招く事を危惧する。近年、地方自治の分野でも公共政策の意志決定過程に住民を参加させる自治体も現れてきている。住民と協働し合意形成を図り、行政と住民

のパートナーシップをより進めるように変わらねばならないのか。

町長 住民の意見を聞くという事は当然な事である。町としても、それぞれの審議会等の答申を受けてやっている。さらに広く住民の理解を得てからの政策決定については、内容によりけりと思う。議員も住民の代表なので、執行部と議会である程度のは判断していく。

それでも重要な案件は、丁寧な説明が必要だと思う。



住民と協働

問 人吉球磨の消防力強化は



橋本 誠 議員

橋本 近年、消防力強化の必要性が盛んに言われているが、その対策の一環である広域連携については様々な課題があり、取り組むには厳しいものがあると言わざるをえない。そのような中、急速に人口減少が進む人吉・球磨を考えた時、消防力強化・財政健全化の面から第一は上球磨消防組合と人吉下球磨消防組合の統合が必須と考える。一方、統合の可能性が厳しいとしたら消防署から東側は改善されているが、地域住民の不安感を取り除くために、かねてから熱望している上球磨消防署西分署の設置を早急にすべきと考える。

町長 上球磨消防組合と人吉下球磨消防組合の2つを長期的な視点で見れば統合していくことがあるべき姿と思うので、上球磨消防組合と人吉下球磨消防組

合で再度協議をお願いすることが先と考える。それが出来ないということであれば、次のステップとして上球磨消防署西分署を考えていきたい。



人吉下球磨消防東分署



上球磨消防東分署

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

※一般質問の文章については、質問者の

問 地域での人のつながりの必要性

加賀山 地域づくりを進める上で、支所の充実とサポーターの設置、地域づくり団体の育成は必須だと思うが。

総務課長 今回地域活性化交付金の円滑な実施を支援するために行政担当職員を配置するよう進めている。

加賀山 地域づくりのサポーターでは子供たちが大きな役割をもっている。子供たちの力はとても大事。

教育長 各学校で福祉施設等での活動を通し素地を養っている。地域に貢献する子供を育てることを更に進めたい。

加賀山 自主防災組織の役割も地域づくり団体の大きな柱ではないか。



和綿活用の地域づくり（須恵地区）

総務課長 自主防災組織は大変重要な役割を担っている。更に自主的な活動ができるよう進めていく。

その他の質問

○地域おこし協力隊の方が「食の企画」「観光コンセプト」事業で活動されている。ある意味この2名の方は町のPR大使。3名枠との事であったが、例えば農林業関係とくに特化した形でもう一名募集してみては。

○防災サインも含む「サイン計画」への取り組みは。



加賀山 瑞津子 議員

問 林業活性化振興基金の設置は

溝口 林業従事者の高齢化や新規従事者不足に寄って山林の育成等も手が届かない状態となっている。今こそ林業従事者の育成、林業事業者に対する機械等の補助制度の為に基金を設置すべきではないか。

町長 2億円の林業振興基金を設け人材育成や林業を生業として携わっていただける仕組みづくりを検討する。

副町長 林業後継者がまさに危機的環境にある、それを補う為、即必要な事業対応も出てくると考えられるので検討していく。

溝口 上財産区の廃止をこの九月議会に提案の予定と聞く。上地区住民の理解は得られていない。



高性能林業機械

い。特に基金を全行政区に交付する事には抵抗がある。

町長 上地区には統合した中学校、そして今回、ヘルシーランド温泉を整備して町唯一の温泉として残す。合併して十数年たったので上地区民には寛大な心を持っていただいて財産区の廃止に理解をいただきたい。

その他の質問

○シンボルロード及び免田川の環境整備について



溝口 峰男 議員

問 基幹産業である農林業後継者対策は



市岡 高純 議員

市岡 全国的にみても農業人口は減少を辿り、高齢者の離農が進み、若者の就農も伸び悩む中で、あさぎり町の現状と対策は。

町長 農林業問わず、若者が残れる町づくりを町長を目指した大きな目的として取り組んできた。

農業振興課長 町も現状を把握し、高齢化や担い手不足による地域は、集落営農の強化継続を進めている。新規に就農を目指す方々には、国の制度で行っている農業次世代人材育成投資事業によりサポート体制を築いていき、町としては、農業振興補助金等で経営者に対して行い、今後農業支援センターにおいて後継者の学びの場や法人化に向けての取り組みを支援していく。



父から操作指導を受ける若手後継者（あさぎり町内）

建設林業課長 森林施業計画の中でおおむね作業が出来ている。今後従事者の基礎的な講習研修等の助成を必要と考える。

副町長 労力の枯渇が見えていいる。山林の維持・森林環境の保全に理解を頂き、特定基金も活用しながら林業振興に努める。

その他の質問

○地元産材と地元企業によるモデルハウス建築について

問 免田地区慰霊塔の復旧支援策は



豊永 喜一 議員

生活福祉課長 昨年、遺族会の方より要望があり、慰霊塔を道路安全の為に補助を出して、下におろしていただいている。慰霊塔は大切なものであるので、遺族会と具体的な金額等も含めて、検討したい。

その他の質問

○農業委員会法の改正について

豊永 昭和20年8月の戦争終結から戦後72年経過したが、戦争を知る世代が年々減少する中、戦争の悲惨さや代償を忘れてはならない。祖国の安泰を願う犠牲になられた英霊たちを顕彰する免田地区の慰霊塔が昨年の熊本地震で損壊し、現在、安全確保の為、横に置かれていいる。平和への思いを風化させない為にも、何らかの復旧への支援策と平和教育の現状と課題を問う。

町長 通る度にこのままでいいのかわからない。多くの方が国を守つて犠牲になられた経緯もあることから、子々孫々伝えて、今後こういうことがないよう、取り組みを行うことが大事だと思う。



熊本地震で損壊した免田地区慰霊塔

問

地域の子供たちを守り育てる 支援のあり方は

難波 新学期を迎える時期は全国的に不登校や悲しい事件が急増するが、町には支援や対策はあるのか。

生活福祉課長 現在町内には7つの学童クラブがあり今のところ課題はない。

難波 不登校の状況とその理由は把握しているか。

教育課長 7月現在で13名である。

教育長 一概には言えないが、養育環境が影響していると考えられる家庭の子供もいる。またこの2年間は、周囲の雰囲気や相手の気持ちを読むことが難しい子供達の例が増えている。人間関係を築くのが困難な中で不安を感じていると推察する。

難波 心の闇を抱えた子供達が気軽に相談できる人や駆け込める場所などの支援体制は。



難波 文美 議員



教育課長 生涯学習センターに居場所を確保している。中学校には2名のスクールカウンセラー、心の相談員1名、不登校支援サポーター1名を配置している。

難波 各校区の範囲内で立ち寄れる居場所の拠点整備が必要ではないか。

町長 可能性のひとつとして様々な取り組みを公民館でやっていきたい。

一般質問

問 空き公共施設の現状は

永井 利用されていない公共施設、または一部貸し出している公共施設の管理等の現状は。

総務課長 一部貸し出している施設においては電気工作物等や浄化槽の点検、または必要に応じた修繕をおこなっている。一部貸し出している施設と貸し出していない施設においても建物災害共済には当然加入しているし、周辺の樹木や雑草の管理もおこない必要最小限の経費で維持管理をやっている。

しかし、旧上庁舎・旧岡原庁舎は一部使用されている部分は良好な状態を保っているが場所的には雨漏りや経年劣化等による内部の損傷も進行しているのが現状である。



永井 英治 議員

永井 先長く使用を検討されている施設の修繕等は、事後保全ではなく予防保全で対応するべきと「公共施設等総合管理計画」にはうたっているが。

総務課長 耐用年数以上に長く使用できる施設にする事も「公共施設等総合管理計画」の目標でもあるからその施設次第では優先的に長寿命化の対策が必要と考える。

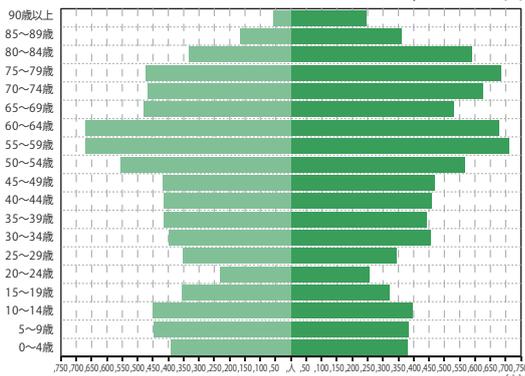


一部空き施設の旧岡原役場

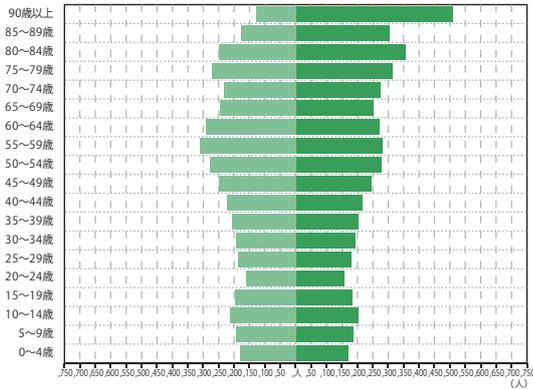


人口減少と財政規模の縮小がもたらす影響は

* あさぎり町の人口ピラミッド *
2016年 15994人



国立社会保障・人口問題研究所推計 2060年 8984人



人口減少と財政規模の縮小が続き、従来同様の住民サービスの継続が難しくなる場面も出てくる。

久保 町民の平均所得が22.9万円という厳しい経済状況の中で、我々は3つの温泉施設の維持をあきらめて、ヘルシーランドへの一本化の道を歩み始めた。来年度には、水道料金の10%の値上げもあり、介護保険料も上げざるを得ない。



久保 尚人 議員

我々町の行財政を任されている立場の者も給与や報酬を削減してでも、その痛みを一緒に感じる必要がある。

この覚悟がなければ町民の共感は得にくいと考える。

人件費を聖域とせず、議論のテーブルに乗せていただきたい。

町政に携わる者は、未来のことに責任を持って事業をやっていくという共通の認識を持つべきではないか。

町長 今打てる手を打ち最大限努力していく。

自ら身を削ることも理解できるが、大事な問題であるので今踏み込んで発言していく状況だ。

一般質問

町村議会常任委員長・議会運営委員長研修に参加して

小出 高明

研修初日の8月22日、美里町に於いて東大名誉教授・大森彌氏を講師に「二元代表制の意義と議会の機能強化」の演題で公演が行われた。住民が自治体の機関である首長と議会議員を別々に直接選挙で選び、それぞれ住民に対して任務遂行に関し政治責任を負い、住民の為に行動する為、一定の緊張関係のもとに協力しあう政治システムが二元代表制であり、競い牽制しあいつつも協力しあって住民にとって最良な意思決定を行っていく事が基本的任務であるとの事であった。

2日目は、益城町に於いて、益城町の議長、事務局長より、熊本地震の災害対応復旧状況の詳しい説明及び

び現地視察であった。1年以上経った今も役場の壁や天井が崩れたままの状態を目の当たりにし、あさぎり町に於いても、人吉盆地南縁断層があり、もしもの時に備え、強度の地震にも耐えうる防災センターの必要性、また、防災に対するの今以上の意識・認識を高めていく事の重要性を強く感じた研修であった。

研修初日の8月22日、美里町に於いて東大名誉教授・大森彌氏を講師に「二元代表制の意義と議会の機能強化」の演題で公演が行われた。住民が自治体の機関である首長と議会議員を別々に直接選挙で選び、それぞれ住民に対して任務遂行に関し政治責任を負い、住民の為に行動する為、一定の緊張関係のもとに協力しあう政治システムが二元代表制であり、競い牽制しあいつつも協力しあって住民にとって最良な意思決定を行っていく事が基本的任務であるとの事であった。

2日目は、益城町に於いて、益城町の議長、事務局長より、熊本地震の災害対応復旧状況の詳しい説明及び



(益城町議場の被災状況 8月23日)

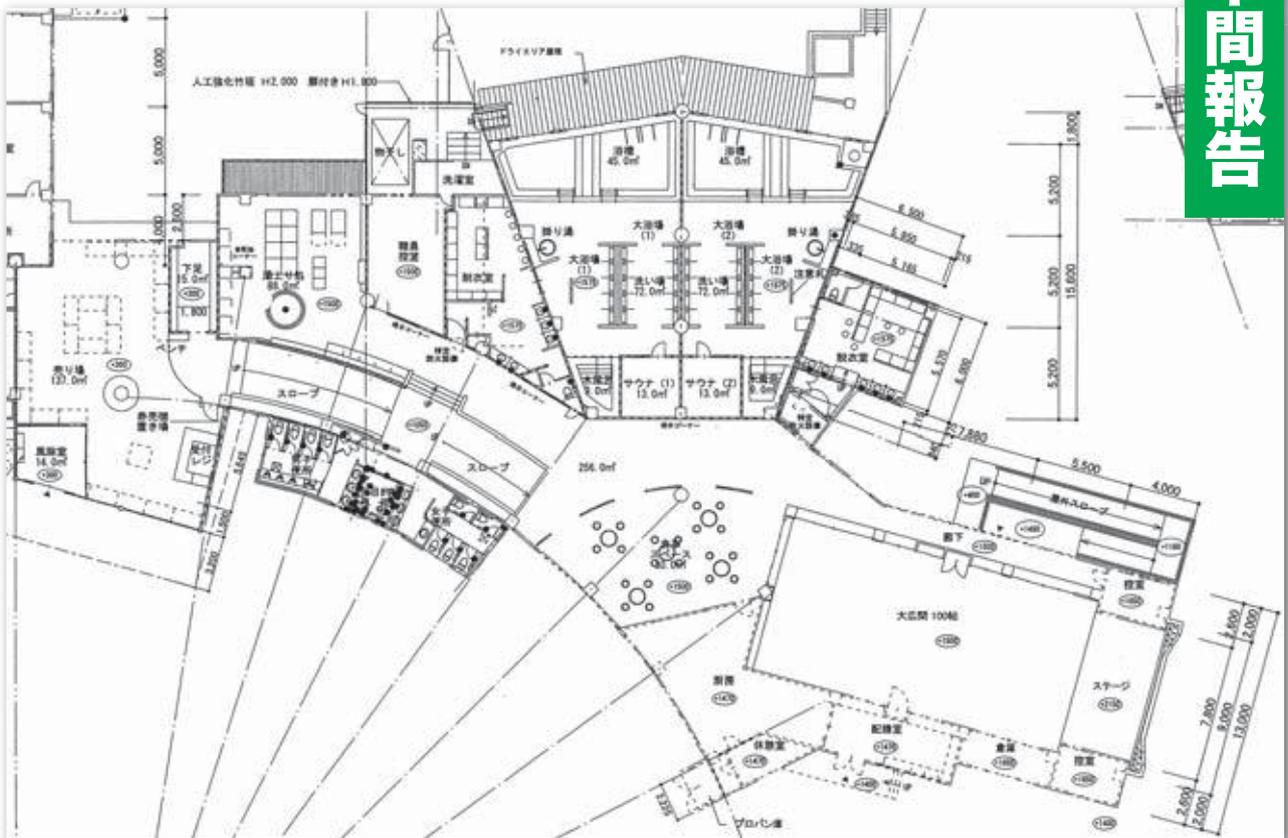
ヘルシーランド改修について

特別委員会中間報告

本委員会は、平成29年6月16日、議長を除く全議員で設置され、五回の特別委員会を開催し協議してきた。執行部より提案があった改修工事内容について、現地調査を含め委員全員で協議した結果、改修内容・改修工事費及び設計監理費について賛成多数により承認するものと決定した。

① 物産販売の面積は、現在の物産館を移転することになる為、以上の面積を確保する。

② 2クラフト館は解体し駐車場とする為、木工クラブ・陶芸クラブ会員の意向を踏まえ、引き続き活動していただく為、移転先を確保する。



あさぎり町ヘルシーランド改修工事図

みやき町議会研修受け入れ <広報編集委員会>



10月6日、佐賀県みやき町より広報編集委員6名の方々が来町され、私達広報委員と、今後の広報誌のあり方について意見交換を行った。両町共に工夫された広報誌とあって、さらに町民のみなさまに手に取って読んで頂く為の課題などを話し合う場が持てた。さらにみやき町は、近年、防災センターを兼ねた庁舎を建設され、4月の議会視察の際も丁寧な説明を頂いた。また、タブレット導入によるペーパーレス化と効率化を図る議会を行われておられ、私達広報委員会としても、多くの事を学ばせて頂いた。

熊本県町村議会議員研修会報告

難波文美

平成29年10月4日（水）美里町文
化交流センターひびきにて

○「熊本地震からの復旧・復興に向
けての課題」を熊本県立大学理事長
五百旗頭真氏が四十六億年前の地球
誕生から地殻変動・生物の進化など
地学歴史の分野をひもときながら地
震のメカニズムを説明された。阪神
淡路大震災も熊本地震も隣人同士の
助け合いで生命の危険を免れた事実
をもとに共助の重要性を語られた。



五百旗頭 真氏
いおき べまこと



有浦 隆氏
ありうら たかし

○「町村防災とは？・熊本地震の教
訓と共に」を県知事公室・危機管理
防災課企画監 有浦隆氏が講演され
た。レンジャー部隊幹部として数々
の災害に対応されてきた実績があり
町村防災の本質は『予防』につきる
との明確な提言をされ行政事務の訓
練が住民の生命を守るなど大きな気
づきを得た貴重な講演内容であっ
た。

ふるさと関西会 10名の里帰り “あさぎり町ふるさと探訪会”開催

9月22日（金）ふるさと関西会より10名の参加があった。担当職員の案内のもと、内山
観音（深田）から始まり、各地区の観音めぐりなど文化財の見学、参拝、探索をされた。
ある方は55年ぶりに谷水薬師を訪れ懐かしさを覚え、またある方は参拝先におられたおも
てなしの方々に中学生当時の同級生と会われ、むかし話に花が咲いた出会いとなられた。
途中、庁舎で行われた「就学児童・生徒応援募金」寄贈式では、関西会代表 森本修氏



宮原観音で郷土料理に舌づつみ

（須恵出身）より町長へ10万円を手渡された。
寄贈は、各学校の図書館“ふるさと文
庫”の本の購入にあてられている。ふるさと
を遠く離れ、今回の企画で里帰りされて、改
めて懐かしさと、新しさを知る温故知新の旅
になられたのではないかと思う。議会からも
毎年各ふるさと会総会に参加させて頂いてお
り、改めて御礼申し上げます。

球磨川つくしイバラ除草



サイクリングロード周辺の除草作業
(5月20日)

南稜高校育友会 ビーチ大会に参加



南稜高校育友会球技大会に参加
(7月15日)

郡民体育祭選手応援



各種競技の応援参加
(7月1日)

菜の花プロジェクト(青年団主催)



南稜生も参加。春が楽しみです。
(10月15日)

招待剣道錬成大会



東北の子ども達を招いての招待試合に応援参加
(8月5日)

常任委員会及び一部事務組合報告

総務文教常任委員会

○7月3日(月)

あさぎり町議会に付すべき公の施設の利用に関する条例の制定について

旧深田中学校に薬草加工所が建設される事にもなう条例の制定で、後日7月11日の本会議において可決されている。

○8月4日(金)

須恵中学校跡地と旧並木元団地の宅地分譲について

宅地分譲実施要項案と共に審議し、旧須恵中学校のグラウンド分譲は5区画、旧並木元団地は3区画とした。

小学校運動部活動社会体育移行検討委員会の中間報告

7月現在での検討委員会の決定事項として、「社会体育移行の受け皿



須恵中学校跡地分譲地

は既存のジュニアスポーツクラブとすること」「移行時期は、県教育委員会の方針より1年早い平成30年4月1日とする」との報告。

○8月24日(木)

主要な空き公共施設の現地調査

本常任委員会と全議員により主要な7施設を調査。

○8月30日(水)

主要施設における利活用の方角性について、ホームページリニューアルについて審議

建設・経済常任委員会

○7月3日(月)

あさぎり町薬草加工所の完成に伴い、2件の条例の制定について

公の施設を長期的・継続的に利用させることについては、公益性が損なわれるとの観点から、薬草の生産及び加工事業を安定的に行うためにも、立地協定で定めた期間(20年間)の使用を許可する必要があるため。



○7月11日(火)

本年度以降の町道整備路線の現地調査。高性能林業機械による作業状況調査。JA青壮年部との意見交換会

○7月26日(水)

上財産区第2回住民説明会について。あさぎり駅前駐車場について協議

○8月29日(火)

あさぎり町農業法人化検討委員会の今後の取り組みについて。他4件の事務調査

○8月29日(火)

農地整備事業について、また農業振興補助金、農業施設管理について事務調査

東庁舎工場新設協定については、(株)ナビック社とあさぎり町で締結した協定を平成29年8月1日をもって解除合意成立。



期待される薬草加工場

厚生常任委員会

○7月3日(月)

敬老会の今後の方向性について(高齢福祉課)

過去の区長会において、対象高齢者の増加により公民館に入りきれない行政区があるなどの課題から、3年間の周知期間は置かず、今年度を周知期間とし、平成30年から段階的に75歳以上を対象年齢を引き上げる事になったとの報告。

※「熊本地震被害者の住宅再建に関する請願」について協議

後日、請願者の意見や担当課の意見を聞き、厚生常任委員会判断すること継続審議とした。

※内容は7ページ参照

○7月14日(金)

あさぎり町温泉施設等統廃合に関する行政課題等のこれまでの経緯及び温泉施設統廃合に対する質問及び意見、要望について協議(高齢福祉課・生活福祉課)

項目毎に検討した結果、委員からの意見を集約し、文書作成したものを議会に提出した上で検討する事とした。

○8月1日(火)

「熊本地震被害者の住宅再建に関する請願」について協議

請願者(松本安徳、紹介議員加賀山瑞津子、生活福祉課)両者の御意見を聞き協議を行い、賛否両論あったが、厚生常任委員会としては請願書を採択した。



神殿原地区の敬老会

上球磨消防組合議会

○7月18日(火)

第5回上球磨消防組合庁舎建設調査特別委員会が開催され、設計業者から基本設計の説明を受け、建設的な意見が出された。消防庁舎敷地造成工事入札会(7月3日(水))があり、丸昭建設(株)(契約金額2,322万円、工期7月10日~10月31日)落札し、工事着工がなされている。

公立多良木病院企業団議会

○6月29日(木)

第2回臨時会が開催され、リハビリ訓練室改修工事及び電気メス等の購入で総額5,899万9千円の増額補正、原案可決された。

○9月4日(月)

第3回定例会が開催され、一般質問が1件、決算認定5件、計6議案を慎重審議、いずれも原案可決された。平成28年度決算については、病院事業、老健事業(シルバーエイト)、健診事業の3事業で1億8,451万円の黒字決算となった。他の4つの特別会計決算も黒字である。

人吉球磨広域行政組合議会

○8月25日(金)

クリーンプラザにおいて第3回定例会が開催され、議長の選挙については、選考委員会による指名推選の方法により、錦町選出の高田孝徳議員が議長に選任された。

一般会計補正予算、特別養護老人ホーム特別会計補正予算他の5議案について、原案のとおり可決、決定した。28年度一般会計、人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計、特別養護老人ホーム特別会計の3件と一括して、28年度決算特別委員会が設置され、決算の認定3件の審議について委員会に付託された。

訂正とお詫び

あさぎり町議会だより53号の6ページ、皆越てる子議員の一般質問中、あさぎり中学校への綴帳の寄贈について、「二つのふるさと会からの寄贈」とあるのは、あさぎり町ふるさと会・あさぎり町中部ふるさと会・あさぎり町ふるさと関西会の「二つのふるさと会からの寄贈」の間違いでした。訂正してお詫びいたします。



町民の声

今とこれからの私



須恵 (覚井)
荒木 舞 さん

私は南稜高校生のころ、馬術部に属しておりました。卒業後は馬術部の経験を生かして、静岡で乗馬クラブの仕事に就きました。向こうでは毎日があっという間に過ぎていきました。

その後、あさぎり町に帰ってきて、田んぼの風景や球磨の言葉がとても懐かしかったし、嬉しかったのをよく覚えています。

しかし、あさぎりに帰ってきてやりたい仕事はなく、何をしたいかわからないで焦っていました。

とりあえず働きながら自分のやりたい事を探して、今は調理員として働き始めました。自分がこの仕事に向いているのかは分かりませんが、色々な事を吸収して頑張りたいと思います。今の目標は調理師の資格を取る事です。

また地域の事も私に何かできる事があれば積極的に参加して行きたいと思っています。

旧中学校に想う



岡原 (宮麓)
深松 勇士 さん

私は、旧岡原中学校等のグラウンドやプール施設を開放して、一般向けに利用できるようにしていただきたいです。

企業誘致として、校舎やグラウンド等が使われているのは知っています。ですが、草が生え、荒れている所を見ると、一般向けに開放した方が活用できるのでは？と思ってしまいます。地元開催のスポーツ大会、地域住民の交流の場等で使えるのではないのでしょうか。元々学校のグラウンドとして使用されていたのですから、使わないのはもったいないです。

なので、旧中学校の施設等を一般向けに開放していただきたいです。



落ち葉散り敷く時節。朝夕の冷え込みは冬の気配を感じます。ミサイルの脅威に憤怒を覚えつつも、町内各地の風景が緑から黄金色へと装いを変え、ご先祖から受け継いできた美しく尊い人と自然の共生に感謝の日々です。いつまでも「夢」と「希望」を語り合える町でありますように。

白露もこぼさぬ秋のうねりかな

松尾芭蕉
(難波文美)



編集・発行責任者

議長 山口 和幸

広報調査特別委員会

委員長 市岡 貴純
副委員長 難波 文美
委員 徳永 正道
森岡 和行
橋本 誠